



<取材のお願い>

2024年2月26日
函館工業高等専門学校
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）
さくらサイエンスプログラム推進本部

明日にかける橋（ここにこんな橋があったら） ～函館から世界へ。多国籍チームで挑む SDGs 目標 13～

函館工業高等専門学校では、3月1日（金）～3月7日（木）、テマセクポリテクニク（シンガポール）、プリンセスチュラポン科学高等学校チョンブリ校（タイ）、モンゴル科学技術大学付属高専*から、それぞれ学生4名、教員1名ずつ、計15名を招へいし（*は自費による）、本校低学年の学生を加えた多国籍チームによるワークショップ「明日にかける橋（ここにこんな橋があったら）」を実施します。招へいする学生たちは、各校から選抜された、未来社会の課題に関心がある成績優秀な学生たちです。

橋は、輸送路において障害となる、河川、溪谷、湖沼、海峡、あるいは他の道路、鉄道、水路などの上方に、これらを横断するために建設される構造物です。市街地においては、効率的な土地利用の観点から、道路上や河川上の空間に連続して建設される高架橋も橋の一種です。本ワークショップは、SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」をテーマとし、安全に住み続けられる街づくりのための、新たな橋のデザインをモデル化することを目標とします。ティーンエイジャーならではの柔軟な発想から、瑞々しいアイデアが生まれることが多いに期待できます。

具体的には、多国籍の学生らにより構成されたチームが、世界中で発生している異常気象による自然災害に目を向け、各国の問題や解決方法を相互に学び合いながら議論を展開し、より実現性が高いアイデアへと議論を発展させます。さらに、本校の CAD デザインと 3D プリンターを活用してアイデアを実際に造形していきます。また、函館市近郊に建設された橋や、実際に橋が必要と思われる現場を見学する機会も設けました。彼らが同じ目線で自発的に気付きを得ることが目的です。

3月6日（水）午前に開催される発表プレゼンテーションでは、各チームが力を合わせて形にしたアイデアを、成果として発表します。本ワークショップが、国際的な感覚・刺激、多様性や観察力を身につけたグローバルエンジニアの養成に寄与し、函館を起点とした国際的ネットワークの形成に繋がることを目指します。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」*に採択されたものです。

*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プロ



ogramでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、参加者らが現地調査を行う様子、「橋」についてのレクチャーを受ける様子、ワークショップにて議論を行う様子、CAD デザインと 3D プリンターを活用してアイデアを造形する様子、発表プレゼンテーションの様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当教員へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●橋梁デザイン演習・CAD 演習 ●橋の見学
●デザインワークショップ ●発表プレゼンテーション
●エクスカージョン（函館山、五稜郭等）

【実施場所】 函館工業高等専門学校、函館市近郊、他

【研修日程概要】

3月1日（金）	午前：来日 午後：函館着
3月2日（土）	午前：オリエンテーション、キャンパス施設見学（函館高専） 午後：橋梁デザイン演習・CAD 演習
3月3日（日）	午前：「明日にかける橋」見学（函館高専） 午後：デザインワークショップ（グループごとに「明日にかける橋」のデザイン案作成作業（函館高専）
3月4日（月）	終日：デザインワークショップ（グループごとに「明日にかける橋」のデザイン案作成作業（同上）
3月5日（火）	終日：デザインワークショップ（グループごとに「明日にかける橋」の3Dモデル作成（同上）
3月6日（水）	午前：発表プレゼンテーション、評価（同上） 午後：エクスカージョン（函館山、五稜郭等）
3月7日（木）	午前：函館出発 午後：離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

函館工業高等専門学校 総務課研究推進係
（担当：藤田） s

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室

https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form（担当：田中(禎)、太田）